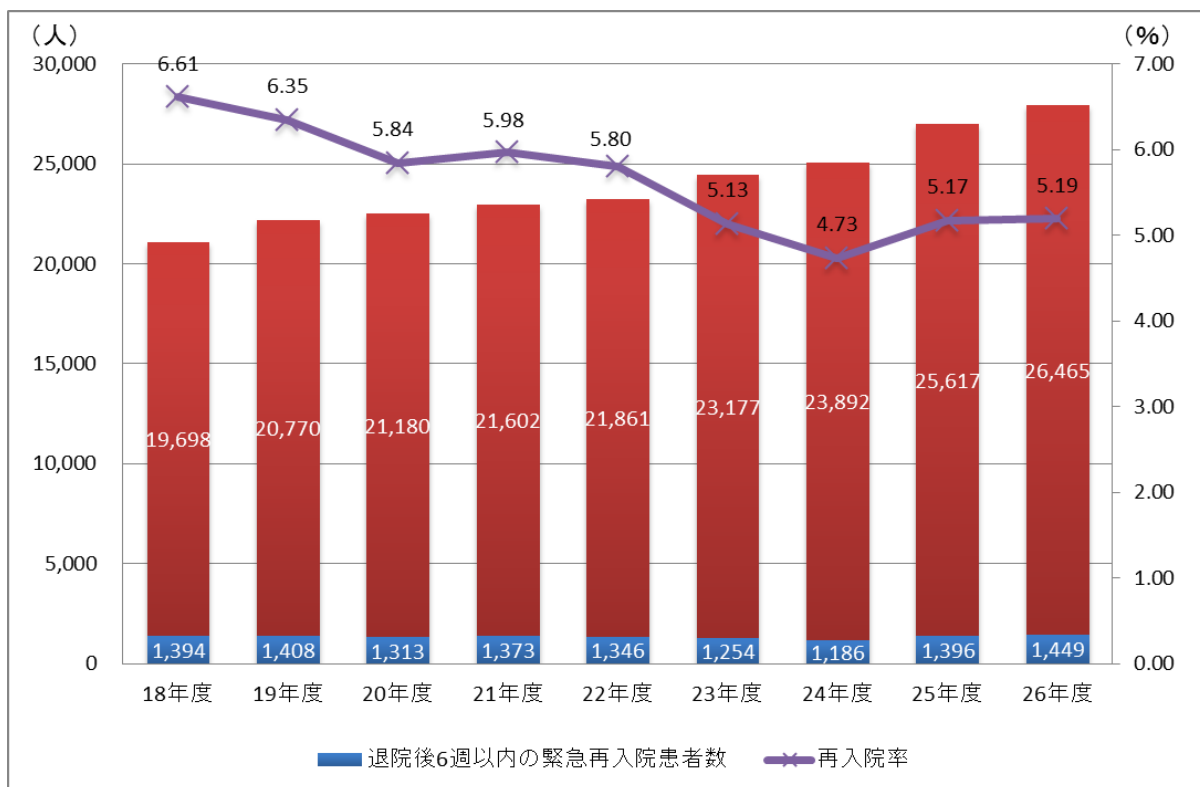


4. 退院後 6 週間以内の緊急再入院率



退院後、予定しない比較的早い段階での再入院は、その前の入院における治療が不十分である、指導が十分されず状態の悪化を招いた等の可能性がある。その割合が高ければ、治療内容の再考も必要となる。また、退院後の計画的でない再入院の期間をどの程度の期間とするのが望ましいか、今後検討する必要がある。

当院の退院後 6 週間以内の緊急再入院率は 24 年度までは減少傾向にあったが、25 年度より増加に転じている。在院日数は他施設と比較し長い方であるので、治療の必要な患者が早期に無理な退院を迫られていることはないと考えられる。

※緊急再入院は、前回の退院後から次の入院までの期間が 6 週間以内で、電子カルテ上、入院予定がなく入院した患者とした。

データ提供 医療情報システム部